

F-1000

F-2000

F-3000

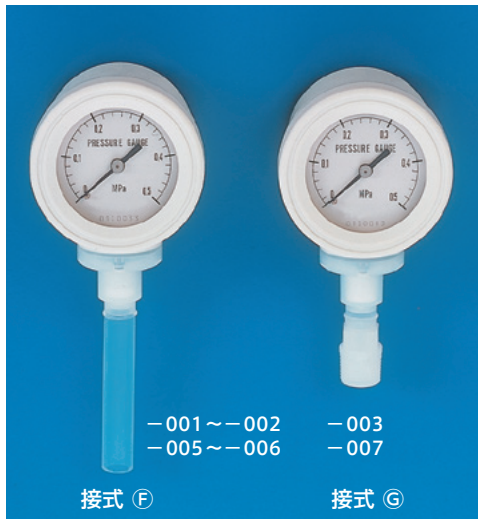
F-4000

F-5000

F-6000

F-7000

F-8000



—001～—002
—005～—006

—003
—007

接式 F

接式 G

※ 圧力計を選定される際には、性能を十分発揮できるように常用使用圧力を定格圧力の20～80%範囲内で使用されるように選定してください。

F-2138 フッ素樹脂プレッシャーゲージ

接式 G

PFA・PTFE pressure gauges

PFA・PTFE[®]

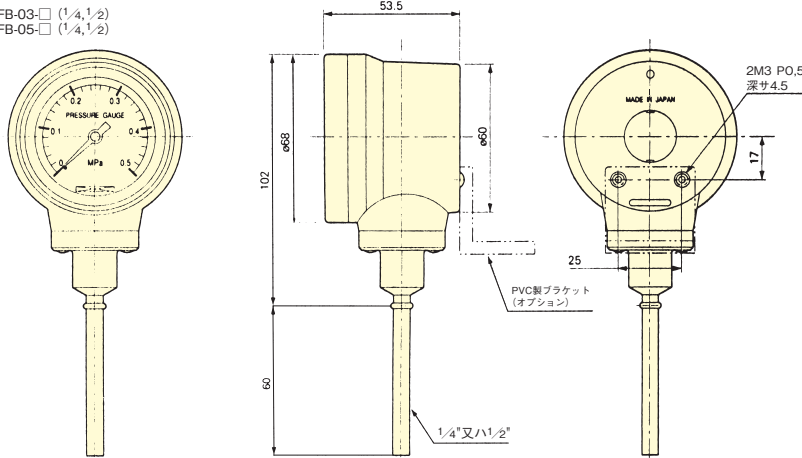
■ 特 長

- 接液部にフッ素樹脂を使用しているため、耐薬品性に優れています。
- フッ酸、強酸、強アルカリにも使用できます。
- 外部ケースは全て樹脂製です。
- ガス透過対策は、特殊二重構造となっていますので、耐腐食性があります。
- 接液部は、禁油、禁水処理にて製作しています。

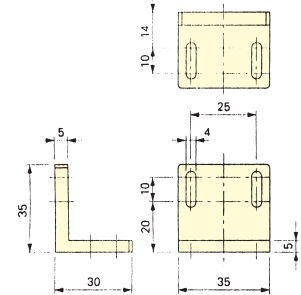
F-2138 コードNo.	型 式	接続タイプ	使用流体	圧力レンジ	精 度	流体温度 範囲	環境温度 範囲	接液部材質
—001	FB-05-1/4	1/4"チューブ出し	純水、 薬液、 ガス	0～ 0.5MPa	±2%F.S.	10℃～ 50℃	10℃～ 40℃	PFA、 PTFE、 カルレッツ [®] Oリング
—002	FB-05-1/2	1/2"チューブ出し						
—003	FB-05-R3	R3/8						
—004	ブラケット FB-B	—	—	—	—	—	—	—
—005	FB-03-1/4	1/4"チューブ出し	純水、 薬液、 ガス	0～ 0.3MPa	±2%F.S.	10℃～ 50℃	10℃～ 40℃	PFA、 PTFE、 カルレッツ [®] Oリング
—006	FB-03-1/2	1/2"チューブ出し						
—007	FB-03-R3	R3/8						

■ 寸法図 (単位mm)

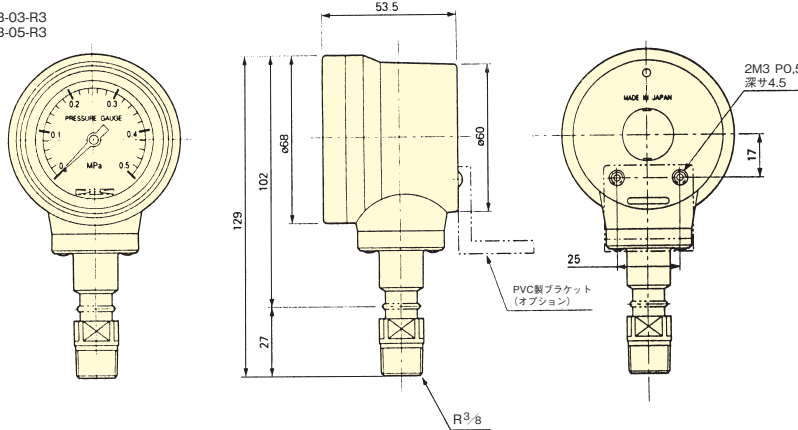
FB-03-□ (1/4, 1/2)
FB-05-□ (1/4, 1/2)



ブラケット寸法図 (PVC製)



FB-03-R3
FB-05-R3



■ 使用上のご注意

- プレッシャーゲージは正立 (目盛板に向かって垂直方向) にて検査、調整していますので、必ず正立でご使用願います。
- 保守及び交換の場合は必ず配管内の圧力を大気圧状態にしてから行ってください。
- プレッシャーゲージへの外部振動は避けてください。
- 計測流体にウォーターハンマー等の急激な圧力変動がある場合はプレッシャーゲージと配管の間にダンパーを取付けてください。
- 計測流体内に異物があると作動不良の原因にもなりますので避けてください。
- スラリー液などの研磨剤が入っている流体には、使用しないでください。
- プレッシャーゲージの圧力導入は、ゲージコックをゆっくり開く等、徐々に昇圧してください。特に初めて圧力をかける際は安全を確認しながら徐々に実施してください。